

## 2005 年冬(2004 年 12 月～2005 年 2 月)の東北地方の天候

- ・ 冬平均気温は平年並。ただし、12 月は高温、2 月は低温。
- ・ 南岸低気圧による東北太平洋側の多雪

### ( 1 ) 2005 年冬( 2004 年 12 月～2005 年 2 月 ) の天候

12 月下旬に強い寒気が南下して気温は低くなったが、12 月中旬までは冬型の気圧配置が長続きせず、気温はかなり高かった。1 月は、上旬に強い寒気が南下したが、中旬以降は強い冬型の気圧配置は長続きせず、気温は平年並となった。2 月も上旬気温は平年並だったが、中旬以降は低気圧が短い周期で通過し、通過後に強い寒気が南下して気温は低くなった。

このため、月毎の気温の変動は大きかったが、冬平均気温は平年並となった。

東北地方の降雪量は、12 月上旬から 12 月中旬にかけてかなり少なかった。しかし、その後東北日本海側の降雪量は平年並が多く、冬合計は平年比 116% と平年並だった。東北太平洋側の降雪量は、南岸低気圧の影響で 12 月下旬に平年比 336%、1 月中旬に 297% とかなり多く、2 月中・下旬も多くなって、冬合計は平年比 133% と多かった。

3 か月平均気温は東北地方で平年並。3 か月間降水量は東北地方でかなり多い。3 か月間日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

12 月： 中旬までは低気圧や寒冷前線が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となったが、寒気の南下は弱く長続きしなかった。このため、上旬、中旬共に平均気温はかなり高かった。しかし、下旬には冬型の気圧配置となって強い寒気が南下し、一転して低温となった。また、29 日と 31 日には南岸低気圧により東北太平洋側で大雪となり、交通機関に障害が発生した。

月平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。月降雪量は、東北地方で平年比 142% と多い(東北日本海側で平年比 77% で平年並、東北太平洋側で平年比 188% と多い)。

1 月： 上旬は強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まり、気温は東北南部を中心に低くなったが、中旬以降、強い冬型の気圧配置は長続きせず、気温は平年並で経過した。このため、月平均気温も平年並となった。

なお、中旬は発達した南岸低気圧、下旬は一時冬型の気圧配置が強まり、強風や高波のため漁船が転覆して 2 名が行方不明となった。

月平均気温は、東北地方で平年並。月降水量は、東北北部で多く、東北南部でかなり多い。月間日照時間は、東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。月降雪量は、東北地方で平年比 117% と多い(東北日本海側で平年比 120%、東北太平洋側で平年比 115% と共に多い)。

2 月： 上旬や中旬前半は強い寒気が南下して冬型の気圧配置が続き、東北日本海側で大雪となる所があった。中旬後半以降は短い周期で低気圧や気圧の谷が通過し、東北太平洋側でも雪となり、特に、16～17 日は二つ玉低気圧の通過により東北太平洋側で大雪となった。低気圧の通過後は強い寒気が南下して冬型の気圧配置となった。

このため、東北日本海側は曇りや雪の日が続き、東北太平洋側でも曇りや雪または雨の日が多く、低温・多雪・寡照となった。

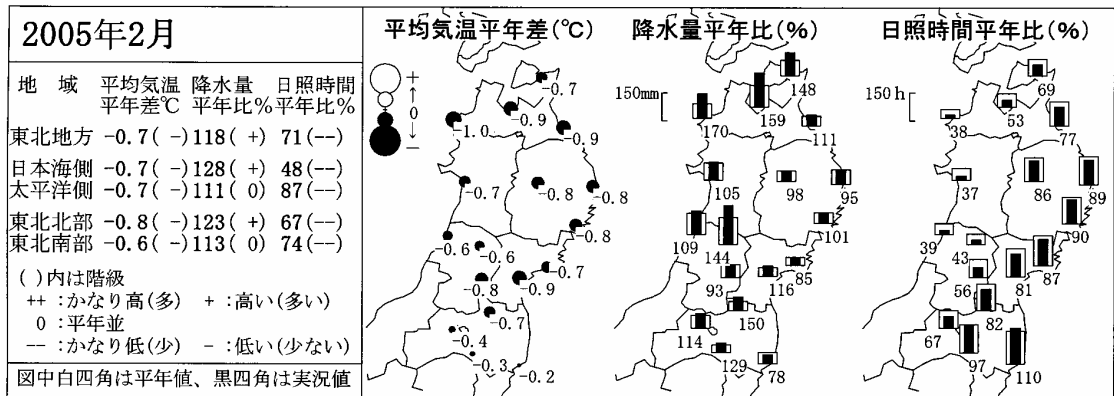
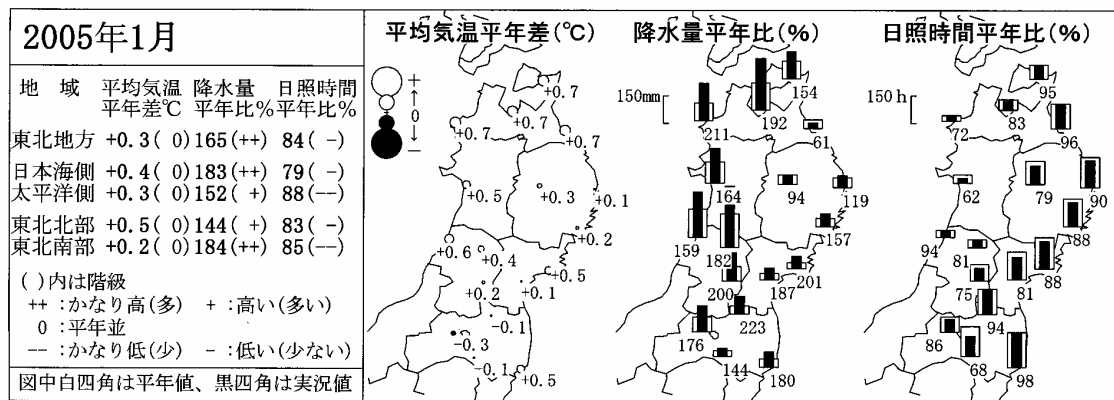
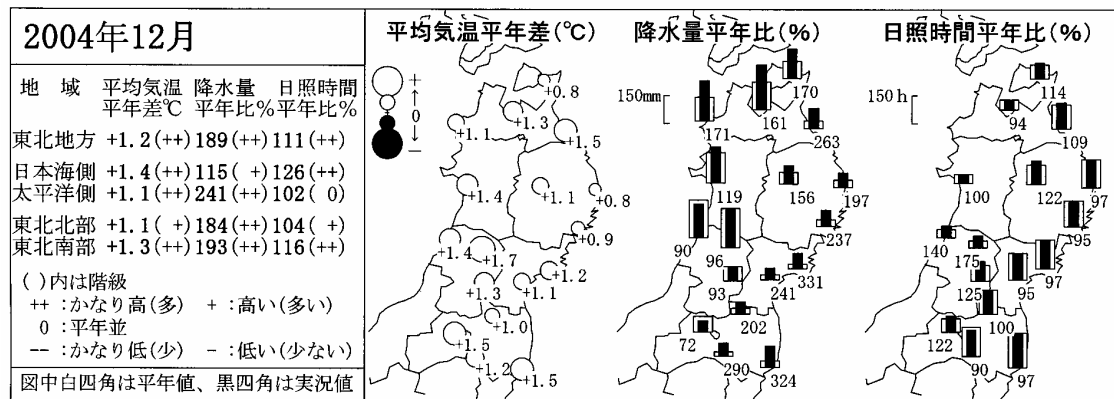
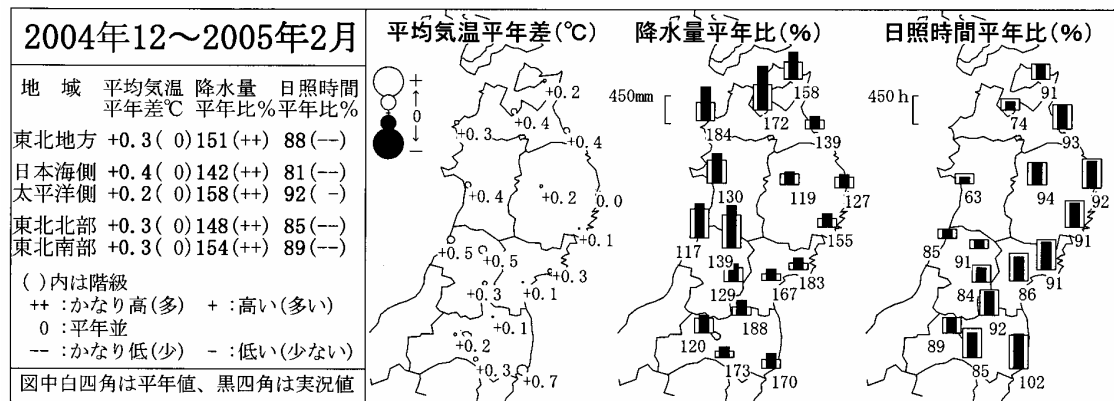
月平均気温は、東北地方で低い。月降水量は、東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は、東北地方でかなり少ない。月降雪量は、東北地方で平年比 137% と多い(東北日本海側で平年比 136%、東北太平洋側で平年比 138% と共に多い)。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、4 ページ目脚注を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係(電話：022-297-8110)

( 2 ) 2005 年冬 ( 2004 年 12 月 ~ 2005 年 2 月 ) の季節・月平均 ( 合計 ) 値の平年差 ( 比 )



注 ) 細分地域

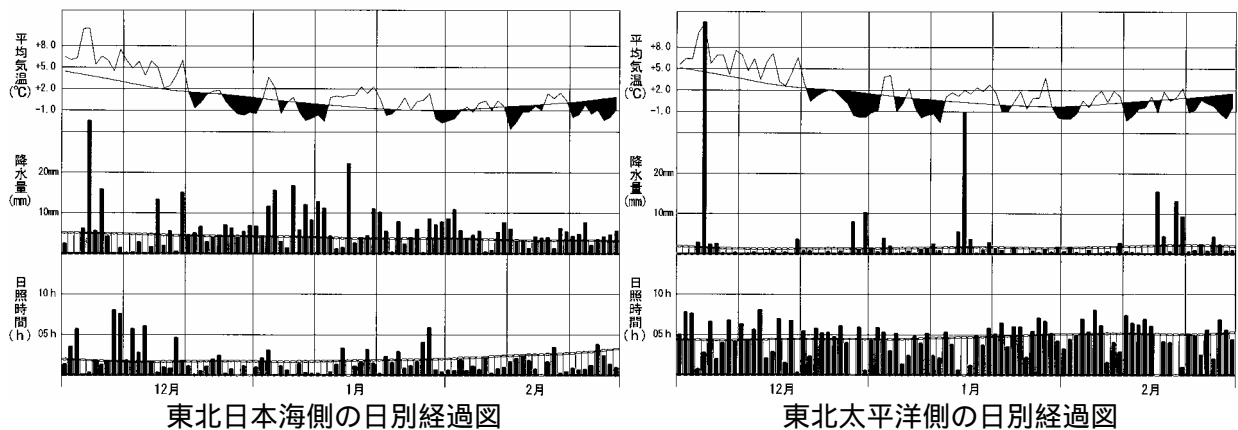
東北日本海側 : 青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方

東北太平洋側 : 青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部 : 青森県、秋田県、岩手県

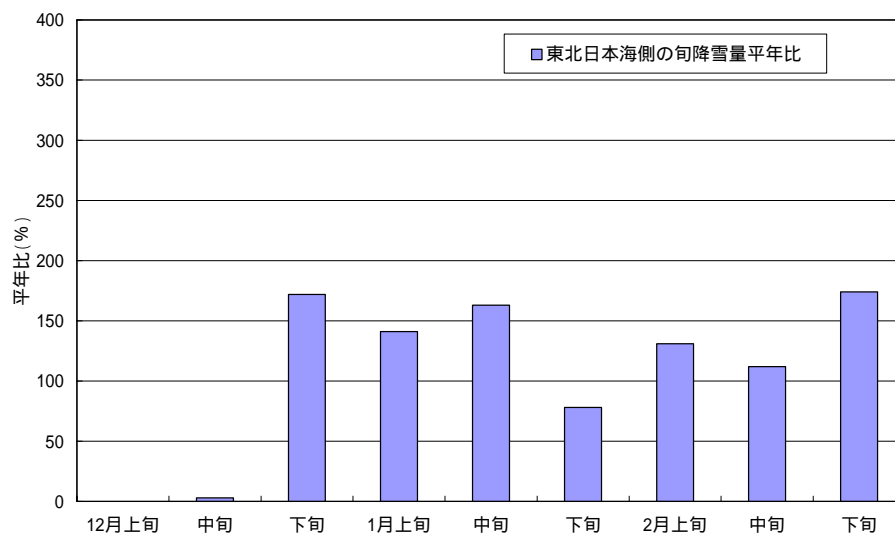
東北南部 : 宮城県、山形県、福島県

( 3 ) 2005 年冬 ( 2004 年 12 月 ~ 2005 年 2 月 ) の日別経過図

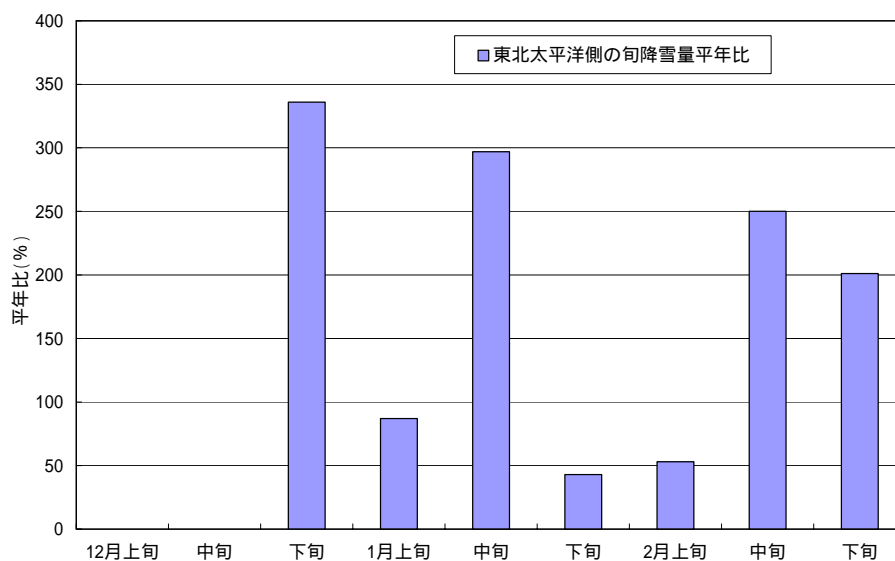


気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均 ( 気温 : 実線と点線、降水量・日照時間 : 黒い円柱と白抜き円柱 )

( 4 ) 東北地方における旬別降雪量平年比の推移



東北日本海側の旬別降雪量平年比の推移



東北太平洋側の旬別降雪量平年比の推移

( 5 ) 2005 年冬 ( 2004 年 12 月 ~ 2005 年 2 月 ) の気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級	降水量(平年比)階級	降水日数	日照時間(平年比) 階級	降雪深さ(平年値)階級	最深積雪(平年値)階級
	( ) ( )	(mm) (%)	1mm (h) (%)		(cm) (cm)	(cm) (cm)
青 森	0.0 ( +0.4 )	702.0 (172) + *	76	136.7 ( 74 ) - *	895 ( 660 ) + *	174 ( 113 ) + *
深 浦	0.9 ( +0.3 )	551.0 (184) + *	73	41.1] ( )	( )	73 ( 44 ) +
				[(統計月数: 2)		
む つ	-0.4 ( +0.2 )	433.0 (158) + *	59	220.4 ( 91 ) -	( )	71 ( 68 ) +
八 戸	0.3 ( +0.4 )	197.5 (139) +	27	369.6 ( 93 ) -	118 ( 109 )	34 ( 31 ) +
秋 田	1.4 ( +0.4 )	479.5 (130) + *	70	99.7 ( 63 ) - *	261 ( 227 ) +	39 ( 41 )
盛 岡	-0.8 ( +0.2 )	202.0 (119) +	26	336.2 ( 94 ) -	162 ( 157 ) +	47 ( 35 ) +
大 船 渡	1.8 ( +0.1 )	214.5 (155) +	14	390.5 ( 91 ) -	64 ( 37 ) +	20 ( 12 ) +
宮 古	1.2 ( 0.0 )	216.5 (127) +	16	428.6 ( 92 ) -	126 ( 75 ) +	31 ( 30 )
仙 台	2.6 ( +0.1 )	181.5 (167) + *	17	382.8 ( 86 ) - *	82 ( 56 ) +	20 ( 17 ) +
石 巻	1.9 ( +0.3 )	186.0 (183) + *	14	439.3 ( 91 ) - *	( )	21 ( 16 )
山 形	0.8 ( +0.3 )	287.5 (129) + *	45	229.6 ( 84 ) - *	312 ( 261 ) +	62 ( 50 ) +
新 庄	0.2 ( +0.5 ) +	742.0 (139) + *	74	124.3 ( 91 ) -	( )	169 ( 125 ) +
酒 田	2.9 ( +0.5 ) +	549.5 (117) +	74	123.5 ( 85 ) -	206 ( 179 )	23 ( 36 ) -
福 島	2.5 ( +0.1 )	237.5 (188) + *	25	378.3 ( 92 ) -	167 ( 106 ) + *	21 ( 25 )
若 松	0.5 ( +0.2 )	282.0 (120) +	50	222.2 ( 89 ) -	306 ( 325 )	67 ( 57 ) +
白 河	1.4 ( +0.3 )	170.0 (173) +	19	398.8 ( 85 ) - *	( )	16 ( 21 ) -
小 名 浜	5.1 ( +0.7 )	244.5 (170) + *	17	557.9 ( 102 )	9 ( 12 )	5 ( 5 )

( 注 ) 1 . 平年値は 1971 ~ 2000 年の資料から求めた。

2 . 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

+ : 高い ( 多い )

: 平 年 並

- : 低い ( 少ない )

各階級の区分値は、1971 ~ 2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる ( 各階級が 10 個ずつになる ) ように決めた。

また、階級が「高い ( 多い )」「低い ( 少ない )」となった地点のうち、1971 ~ 2000 年間で、高い ( 多い ) 方または低い ( 少ない ) 方から 10% に入る極端な値である場合には、階級の「+ -」に \* を付加した。この場合には

かなり高い ( 多い )

かなり低い ( 少ない )

と表現できる。

3. 値の横に ) や ] がある場合には、3 か月別値を求める際に使用したデータ ( 月別値 ) に欠測等が含まれていることを示す。 ) 付きの値 ( 準完全値 ) は通常のものと同様に扱うことができるが ] 付きの値 ( 資料不足値 ) については、値の下に記載した統計月数 ( 統計に用いた、品質が十分な月別値の数 ) を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

( 6 ) 降雪量 ( 降雪の深さの合計 )

地点	12月 c m	( 平年値 ) c m	1月 c m	( 平年値 ) c m	2月 c m	( 平年値 ) c m	冬合計 c m	( 平年値 ) c m	階級
青森	238	177	327	271	330	213	895	660	+ *
深浦	---	---	---	---	---	---	---	---	---
むつ	---	---	---	---	---	---	---	---	---
八戸	9	21	31	39	78	50	118	109	
秋田	45	50	99	98	117	78	261	227	+
盛岡	18	41	71	60	73	55	162	157	+
大船渡	14	7	21	13	29	18	64	37	+
宮古	30	9	43	21	53	45	126	75	+
仙台	26	11	16	20	40	25	82	56	+
石巻	---	---	---	---	---	---	---	---	---
山形	35	59	165	109	112	93	312	261	+
新庄	---	---	---	---	---	---	---	---	---
酒田	24	33	89	80	93	66	206	179	
福島	30	19	72	44	65	42	167	106	+ *
若松	21	73	158	139	127	113	306	325	
白河	---	---	---	---	---	---	---	---	---
小名浜	3	1	0	5	6	7	9	12	

注： 深浦・むつ・石巻・新庄・白河は降雪量の観測をしてない。  
階級については 4 ページ脚注を参照。

( 7 ) 最深積雪 ( 積雪の最も大きい値 )

地点	12月 c m	( 平年値 ) c m	1月 c m	( 平年値 ) c m	2月 c m	( 平年値 ) c m	冬最深 c m	( 平年値 ) c m	階級
青森	90	51	131	86	174	111	174	113	+ *
深浦	31	17	41	31	73	42	73	44	+
むつ	29	24	41	47	71	66	71	68	+
八戸	10	10	12	18	34	28	34	31	+
秋田	23	16	27	31	39	37	39	41	
盛岡	13	17	25	27	47	33	47	35	+
大船渡	11	4	20	7	17	9	20	12	+
宮古	29	6	30	12	31	29	31	30	
仙台	16	7	15	11	20	13	20	17	+
石巻	21	5	21	8	16	13	21	16	
山形	19	23	60	37	62	46	62	50	+
新庄	60	50	142	97	169	123	169	125	+
酒田	13	13	23	27	17	30	23	36	-
福島	20	10	21	18	18	18	21	25	
若松	8	28	46	44	67	46	67	57	+
白河	12	8	16	14	13	14	16	21	-
小名浜	3	1	0	3	5	4	5	5	

注： 「 」は現象がなかったことを示す。  
階級については 4 ページ脚注を参照。

( 8 ) 真冬日 ( 最高気温が0 未満の日 ) の日数

地点	12月 日	(平年値) 日	1月 日	(平年値) 日	2月 日	(平年値) 日	冬合計 日	(平年値) 日
青森	5	3.8	10	10.0	9	7.7	24	21.3
深浦	3	2.2	6	9.2	7	7.6	16	19.0
むつ	6	3.4	8	10.1	9	8.0	23	21.4
八戸	3	2.0	4	6.8	5	5.3	12	14.0
秋田	0	1.0	1	6.0	4	5.0	5	12.0
盛岡	3	2.2	7	8.2	7	5.3	17	15.6
大船渡	0	0.5	1	2.5	1	1.7	2	4.6
宮古	0	0.1	0	1.3	1	1.2	1	2.7
仙台	0	0.1	0	1.1	0	0.9	0	2.1
石巻	0	0.3	1	2.1	0	1.6	1	4.0
山形	2	1.1	3	5.6	3	3.9	8	10.7
新庄	3	2.3	5	9.0	7	6.9	15	18.1
酒田	0	0.2	0	2.5	1	2.0	1	4.6
福島	0	0.1	0	1.3	0	1.1	0	2.4
若松	1	0.9	7	5.6	3	3.9	11	10.4
白河	2	0.3	0	2.4	0	1.8	2	4.6
小名浜	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

( 9 ) 冬日 ( 最低気温が0 未満の日 ) の日数

地点	12月 日	(平年値) 日	1月 日	(平年値) 日	2月 日	(平年値) 日	冬合計 日	(平年値) 日
青森	16	22.1	30	29.1	28	26.2	74	77.5
深浦	13	16.4	28	26.4	28	23.9	69	66.7
むつ	24	24.5	29	29.0	28	26.3	81	79.8
八戸	20	23.2	28	28.8	28	26.0	76	77.9
秋田	10	16.9	28	26.3	27	24.1	65	67.4
盛岡	22	25.3	31	29.6	28	26.8	81	81.8
大船渡	14	18.3	30	26.3	28	24.1	72	68.8
宮古	18	21.9	30	28.0	28	25.4	76	75.4
仙台	10	13.8	25	24.6	27	21.9	62	60.3
石巻	12	17.6	29	26.4	27	23.4	68	67.2
山形	15	20.7	30	28.5	28	25.6	73	74.9
新庄	16	22.1	30	28.4	28	25.9	74	76.5
酒田	7	9.3	22	20.8	24	19.7	53	50.0
福島	9	14.9	23	24.4	25	21.4	57	60.9
若松	19	21.7	30	28.0	27	25.3	76	75.1
白河	19	23.3	31	28.5	28	24.8	78	76.8
小名浜	6	10.8	16	20.6	14	17.8	36	49.6

( 1 0 ) 2005 年冬 ( 2004 年 12 月 ~ 2005 年 2 月 ) の極値・順位更新  
 ( 3 か月平均気温、3 か月間降水量、3 か月間日照時間、降雪の深さ 3 か月間合計値の 3 位以内のみ )

3 か月間降水量 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	これまでの最大(mm)(年)	統計開始年	平年値(mm)
1 位	新庄	742.0	139	739.0 (2000)	1986	534.8
	深浦	551.0	184	498.3 (1963)	1941	299.4
2 位	青森	702.0	172	730.4 (1945)	1887	408.4
	白河	170.0	173	178.5 (1998)	1995	98.5

( 1 1 ) 月統計値の極値更新

( 月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪 ( 大きい方 ) 月降雪量の 1 位のみ。  
 ただし、深浦・むつ・石巻・新庄・白河の月最深積雪は、統計年数が 10 年未満のため極値は掲載しない。また、深浦・むつ・石巻・新庄・白河の降雪量は観測していない。)

月降水量 多い方からの極値更新

月	地点名	降水量(mm)	これまでの最大(mm)(年)	統計開始年	平年値(mm)
12 月	深 浦	215.5	200.6(1957)	1940	126.2
	白 河	72.5	48.5(2002)	1994	25.0
2 月	白 河	53.5	50.0(1998)	1994	41.4

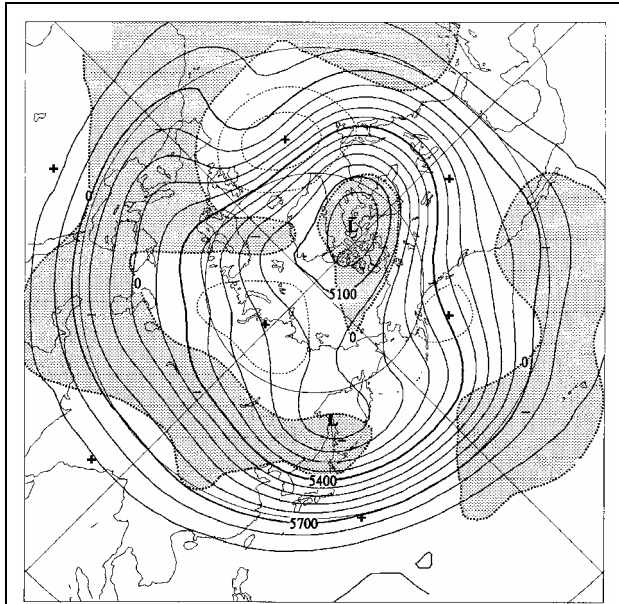
月間日照時間 多い方からの極値更新

月	地点名	日照時間(h)	これまでの最大(h)(年)	統計開始年	平年値(h)
12 月	山 形	106.5	106.0(1996)	1895	85.1

月間日照時間 少ない方からの極値更新

月	地点名	日照時間(h)	これまでの最小(h)(年)	統計開始年	平年値(h)
2 月	秋 田	24.4	29.3(1999)	1900	65.6
	新 庄	24.4	35.4(1991)	1986	56.3
	酒 田	23.3	34.3(1986)	1937	60.0

( 1 2 ) 2005 年冬 ( 2004 年 12 月 ~ 2005 年 2 月 ) の大気の流れ



北半球 500hPa 高度( 2004 年 12 月 ~ 2005 年 2 月 )  
実線は高度 (m)、間隔 60m。破線は偏差 (m)、間  
隔 60m。陰影部は負偏差域。

2004 年 12 月 ~ 2005 年 2 月の 3 か月平均の 500hPa 高度を見ると、シベリア北部やアラスカからカナダ西岸にかけて正偏差、中国大陸から日本の北にかけての  $50^{\circ}\text{N}$  帯で負偏差、日本は東北南部から南は正偏差となっている。一方、日本の南では高圧部が強く、日本付近では等高度線が平年より込み合い、低気圧が発達しながら通りやすかった。

東北地方は、12 月中旬までは冬型の気圧配置が長続きせず、暖かい日が続いた。しかし、12 月下旬から 1 月上旬にかけて強い冬型の気圧配置が続いた。1 月中旬以降は低気圧が短い周期で通り気温の変動は大きかった。2 月中旬以降は強い寒気が南下することが多く東北地方は低温となった。